

「アクティブ・ラーニング&カリキュラム・マネジメントサミット2018」

これからの時代に求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究

研究発表用資料

- ▶ 平成30年5月9日（水）
- ▶ 学術総合センター 一橋講堂

04 千葉県教育委員会

発表の流れ

- ・ 千葉県の現状・課題
- ・ 本事業の目的と具体的な取組
- ・ 柏市立酒井根東小学校の取組
- ・ 市原市立海上小学校の取組
- ・ 市川市立塩浜学園の取組
- ・ 市川市立行徳小学校の取組
- ・ 平成29年度の成果と課題
- ・ 平成30年度の取組

千葉県の現状 ※千葉市を除く

◎ 千葉県の現状（平成29年5月1日現在）

- ▶ 教育事務所数 5事務所5分室
- ▶ 市町村教育委員会数 53
- ▶ 公立小学校数 682校
- ▶ 義務教育学校数 2校
- ▶ 県立特別支援学校数（小学部） 32校
- ▶ 市立特別支援学校数（小学部） 2校

千葉県の課題

◎ 小学校外国語教育の授業時数増加



- ・ 学校数が多い。
- ・ 地域によって特色ある教育を進めている。
- ・ 抱えている教育課題が異なる。

時間割をどうすれば
よいか・・・



- 全県で足並みをそろえることは困難である。

様々なアイデアは、
あるけれど・・・

本事業の目的

◎理由

各学校において、児童や学校及び地域の実態を適切に把握し、カリキュラム・マネジメントに努める必要があるが、参考となる事例が少ない。



目的

外国語活動・外国語科を軸として、弾力的な時間割編成の在り方や教育効果を高めるための指導計画等について実践的な調査研究を行う。

その成果を普及するために、教育課程編成の手引きとなる『新学習指導要領に対応したカリキュラム・マネジメントの在り方』を検討し、指導資料を作成する。

具体的な取組

- ▶ ◎ 県内3市4校の協力
- ▶ №1 柏市教育委員会 ・ 柏市立酒井根東小学校
- ▶ №2 市原市教育委員会 ・ 市原市立海上小学校
- ▶ №3 市川市教育委員会 ・ 市川市立塩浜学園
- ▶ №4 同 ・ 市川市立行徳小学校

- ▶ ◎ 千葉大学教育学部の協力
- ▶ ・ 天笠 茂 特任教授
- ▶ ・ 西垣 知佳子 教授

カリキュラム・
マネジメント
検討協議会

№1 柏市立酒井根東小学校の紹介



- ▶ 校長名 梅津 健志
- ▶ 住所 柏市酒井根1-2-1
- ▶ 電話番号
04(7175)0336
- ▶ 児童数 496
- ▶ 学級数 17
- ▶ 教職員数 29

№1 柏市立酒井根東小学校の カリキュラム・マネジメント

15分を活用して、短時間や60分の授業を実施する

- ▶ 3・4年生は国語科、5・6年生は外国語科の短時間学習（単元によって長時間学習）を週3回実施
- ▶ 実施時間：朝15分～60分
- ▶ 指導者：学級担任及び支援者
- ▶ 使用教材：国語科は教科書、外国語科は新教材
- ▶ 指導内容：国語科は並行読書・漢字・作文・言葉のきまり等
外国語科はアルファベットの音声と文字を中心に
- ▶ その他：授業時数を補うため、クラブや委員会のない週にも授業を実施

№2 市原市立海上小学校の紹介



- ▶ 校長名 鈴木 俊一
- ▶ 住所 市原市神代125
- ▶ 電話番号
0436(36)0802
- ▶ 児童数 64
- ▶ 学級数 6
- ▶ 教職員数 13

№2 市原市立海上小学校の カリキュラム・マネジメント

15分を活用して、短時間の授業を実施する（移行措置活用）

- ▶ 3・4年生は、教育課程外で外国語活動の短時間学習を週1回実施
- ▶ 5・6年生は、外国語科の短時間学習を週1回実施し、12時間を確保
- ▶ 実施時間：朝15分
- ▶ 使用教材：市原市独自教材及び文部科学省配付教材
- ▶ 指導者：学級担任及びALT、地域人材
- ▶ その他：移行措置を活用し、クラブ・委員会のない週に総合を実施（15時間減）
3・4年は、時間割に週1回外国語活動を位置づける
5・6年は、時間割に週2回外国語科を位置づけ58時間を確保し、12時間は学力向上に活用する
※平成31年は移行措置を活用しない

№3 市川市立塩浜学園の紹介



- ▶ 校長名 石田 清彦
- ▶ 住所 市川市塩浜4-6-1
- ▶ 電話番号
047(397)4421
- ▶ 児童数 140
- ▶ 生徒数 193
- ▶ 学級数 前期6 後期6
- ▶ 教職員数 42

№3 市川市立塩浜学園（義務教育学校）の カリキュラム・マネジメント

50分等、45分によらない時間等をすべての授業の標準とする

- ▶ 50分学習
- ▶ 5・6年は、後期課程（中学校）に時程を合わせ、50分学習（45分+5分）を実施し、年間総授業時数を増やす
- ▶ 教科等の特性を踏まえ、1単位時間50分で年間指導計画を全教科等で見直す
- ▶ 50分授業により増加した年間総授業時数と標準授業時数の差を外国語科に充てる
- ▶ 指導者：前期課程と後期課程の教員が相互乗り入れ
- ▶ その他：3・4年生は、45分授業とし、前期日課は国語科短時間学習により授業時数を確保する。
後期日課は1コマ授業時数を増加する。

№4 市川市立行徳小学校の紹介



- ▶ 校長名 石井 辰治
- ▶ 住所 市川市富浜1-1-40
- ▶ 電話番号
047(357)3116
- ▶ 児童数 977
- ▶ 学級数 30
- ▶ 教職員数 56

№4 市川市立行徳小学校の カリキュラム・マネジメント

各教科等の特質に応じ、年間の授業の一部を特定の期間にまとめて行う

- ▶ 年間授業日数を増やして授業時数を確保
夏季休業2日・6単位時間（図画工作科・国語科・理科など）
土曜日2日・7単位時間（総合・生活科・道徳・キャリア教育）
- ▶ 実施時間：土曜日、夏季休業ともに午前中に実施
- ▶ 指導者：学級担任及び地域人材
- ▶ 指導内容：地域人材による特別授業、表現力や探究心を高める授業
- ▶ その他：3～6年は、週2回、朝の15分間に国語科の短時間学習を実施

平成29年度の成果と課題

- 各実践協力校では、弾力的な時間割編成や年間行事の工夫等の取組を進め、外国語活動や外国語科の授業時数確保へ向けた「時間」のマネジメントという視点から見ると一定の成果が得られた。
- その成果を踏まえた「小学校外国語活動・外国語科『時間』のマネジメントについて（リーフレット）」を全小学校等に配付することにより、情報提供をした。
- 学習効果の最大化を図るという目的に照らし合わせると、学習の「内容」や「方法」、教員など指導する「人」や「体制」などのマネジメントの在り方についても検討を加える必要がある。

「時間」のマネジメント（リーフレット版）

平成29・30年度文部科学省カリキュラム・マネジメント調査研究事業
**小学校外国語活動・外国語科
「時間」のマネジメントについて**

本リーフレットのねらい

新学習指導要領では、小学校外国語教育の充実が求められ、新たに読むこと・書くことの言語活動が加わり、コミュニケーションを促す基礎となる読解・能力を養成することになりました。また、各学級年間教育課程基本計画（「各」み）などで取り組む「教育立案ちば」プランの発展でも、郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成を目指しています。今後、研修や教材研究を通じて充実の外国語学習の充実を図る必要があります。

平成29年度からは、3・4年生では外国語活動90時間が加わり、5・6年生では外国語活動が外国語科となって、35時間から70時間が増えることになります。このため、年間授業時数が、3年生は945時間から980時間に、4～6年生は980時間から1015時間になります。この授業時数や学習内容等の増加に対応するためには、時数の適切な配分や、学習効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントを確立することが重要となります。

これらのことを踏まえて、時間割の工夫、つまり「時間」のマネジメントを図ることになり、円滑な学校運営を進めていくことが大切です。

そこで、本リーフレットでは、「時間」のマネジメントに焦点を当て「時間割」の例を示していきます。

カリキュラム・マネジメントって？

「各学校においては、児童や学校及び地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする。」

— 学習指導要領解説・総則編より —

時間割編成上のポイント

- ① 教育効果を最大化するために学習内容と時間を効果的に組み合わせる。
- ② 児童の学びの連続性に配慮する。
- ③ 人的・物的体制を確保する。

千葉県教育委員会

平成30年度の取組

- ▶ ①「時間」のマネジメント
- ▶ ②「内容」「方法」のマネジメント (追加)
- ▶ ③「人」のマネジメント (追加)

→ **学習効果の最大化**

- ▶ 平成30年度末には、研究実践協力校の成果と課題を踏まえ、「新学習指導要領に対応したカリキュラム・マネジメントの在り方」を作成し、県内公立小学校等に配付することにより、平成32年度の全面実施に向けた各学校の取組における参考資料とする。

御清聴ありがとうございました

- ▶ 問合せ
- ▶ 千葉県教育庁教育振興部学習指導課教育課程室
- ▶ kateigimu@mz.pref.chiba.lg.jp
- ▶ 〒260-8662
- ▶ 千葉県千葉市中央区市場町1-1
- ▶ Tel. 043-223-4059